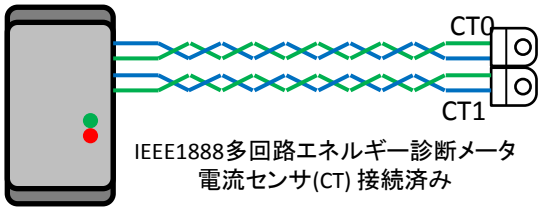
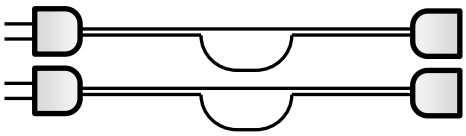
取扱説明書
エネルギー診断メータ・スタータキット

株式会社フタバ企画

1 スタータキットの内容

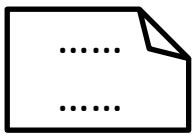


IEEE1888多回路エネルギー診断メータ
電流センサ(CT) 接続済み


延長コード
(計測用)
2本

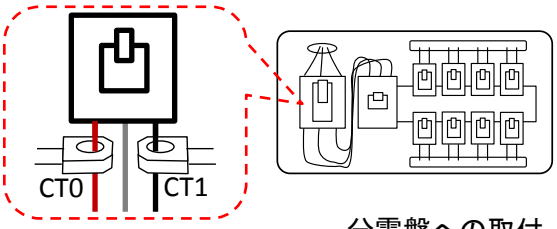
ACアダプタ (6V1A)

LANケーブル


サーバ・ログイン情報

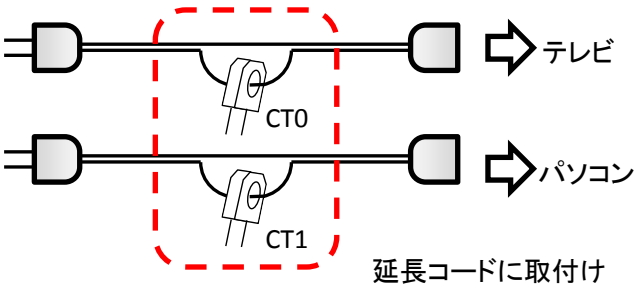
① 分電盤計測の場合　　**② 単体計測の場合**

2 電流センサの取付



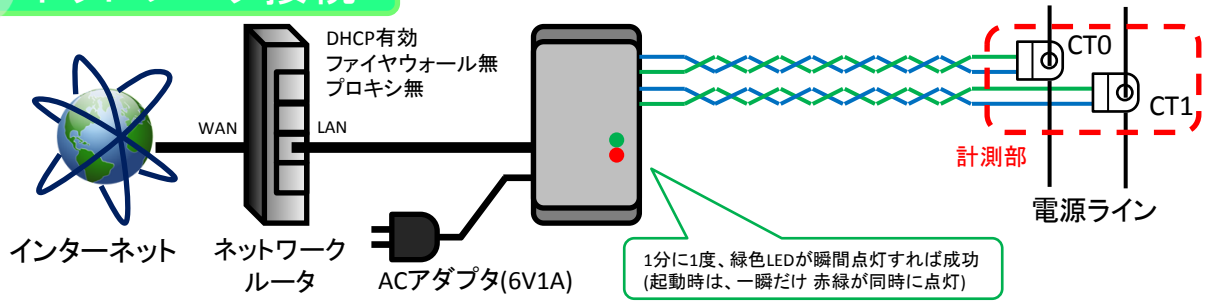
(*) CT0, CT1 で全体を計測します

分電盤への取付



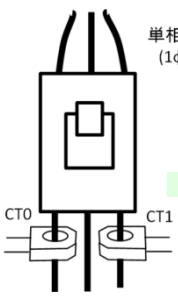
延長コードに取付け

3 ネットワーク接続



① 分電盤計測の場合　　**② 単体計測の場合**

4 サーバ設定



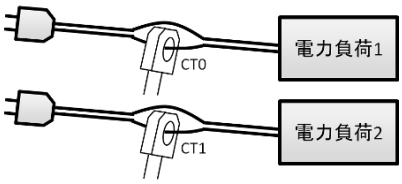
単相三線式電源
(1φ3W: 100V)

サーバにログイン
↓
A1タイプを選択
↓
情報を入力

計測のコンセプト	電力の使用状況

計測点ID	計測点名
VAS0	全体

サーバにログイン → **B2タイプを選択**
↓
情報を入力

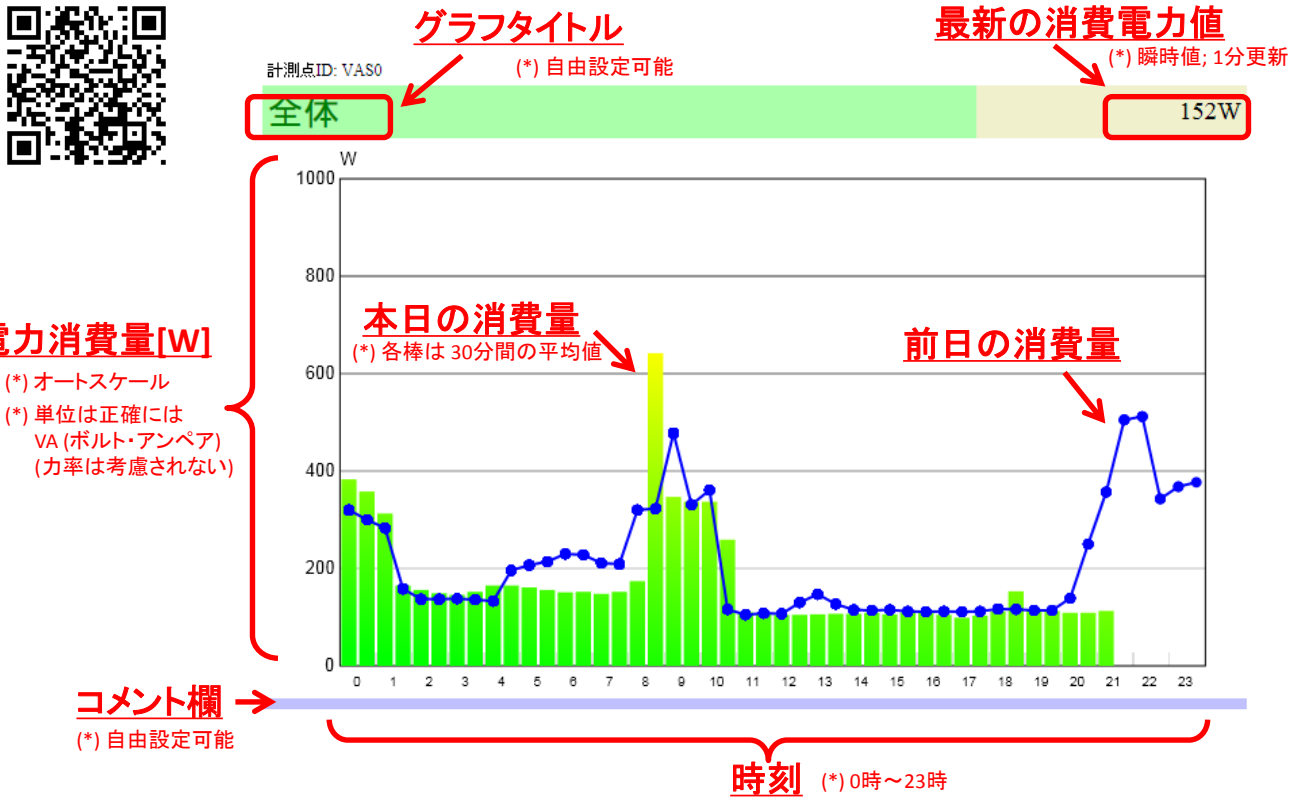


計測のコンセプト	電力の使用状況

計測点ID	計測点名
VA0	テレビ
VA1	パソコン

エネルギー診断グラフ・凡例

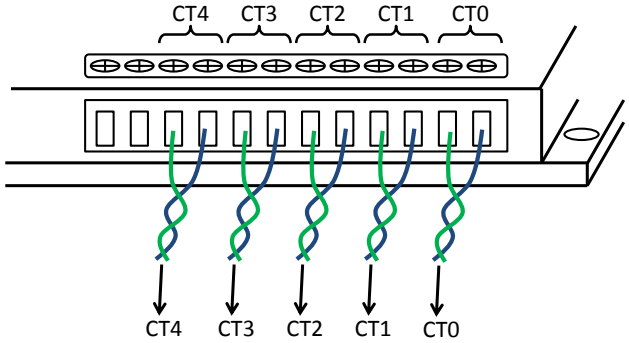
エネルギー診断サービス: http://www.futaba-kikaku.jp/mpm/



重要なお願い

1. 分電盤へのCT取り付け時は、絶縁手袋を使用する、ブレーカを遮断するなどし、感電事故には十分にご注意ください。
2. 結露や水のかかる場所での使用は避けてください。誤動作や故障の恐れがあります。
3. 落下させるなど、激しい衝撃を与えないでください。故障の恐れがあります。
4. CTの配線、ACアダプタの配線には、結束バンドやケーブルカバー等を使用して、安全に固定するようにしてください。事故防止につながります。
5. スタータキットで計測されたデータは、匿名化されてクラウド上のサーバに保管されます。グリーンICT技術の研究開発の目的で統計データを利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

電流センサ(CT)の増設方法



IEEE1888 エネルギー診断メータ(本体)には、最大で5個のCTを接続可能です。
スタータキットにはデフォルトで CT0, CT1が接続されています。
購入時にオプション追加申込みされた場合には、その分も接続されています。
後日、CTを増設する場合には、図のように接続してください。
(*) このとき、配線の色の違い(極性)を気にする必要はありません

トラブルシューティング

トラブル1: 起動後しばらくすると、赤色LEDが点灯する
- ➔ 原因1: ネットワーク通信エラーです。
  対策: DHCP有効、ファイヤウォール無、プロキシ設定不要ネットワークに接続してください。 (*) 詳細はネットワーク管理者にお問合せください。
- ➔ 原因2: サーバのメンテナンス中です。
  対策: しばらくすると復旧しますので、お待ちください。

トラブル2: ブラウザの画面が崩れて表示されたまま停止する
- ➔ 原因: ブラウザが、HTML5対応モードになっていない可能性があります。
  対策: 最新ブラウザを使用し、HTML5対応モードを有効にしてください。

トラブル3: 計測データがブラウザ上に表示されない(0Wと表示される)
- ➔ 原因1: 計測タイプの設定が正しくない可能性があります
  対策: 計測タイプの設定を再確認してください
- ➔ 原因2: 電流が発生していない可能性があります。
  対策: 動作確認(数値の確認)をする場合は、実際に電流を流してください。

上記の方法で解決しない場合は、右記にお問い合わせください。

お問合せ

株式会社フタバ企画

〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-10-12　岩本町駅前ビル302
info@futaba-kikaku.jp
http://www.futaba-kikaku.jp/

(*) 300A電力計測、三相三線電力の計測、
ZigBee無線ソルーション、3G無線ソルーション、
IEEE1888通信関係も、展開しております。

2013年6月版